

期 間 入 札 の 公 告

令和 7 年 7 月 1 0 日

宮崎地方裁判所民事部

裁判所書記官 下 川 夏 実

別紙物件目録記載の不動産を下記のとおり期間入札に付します。

記

入札期間	令和 7 年 7 月 2 4 日から 令和 7 年 7 月 3 1 日まで
開札期日	日 時 令和 7 年 8 月 7 日 午前 9 時 3 0 分 場 所 宮崎地方裁判所売却場
売却決定 期日	日 時 令和 7 年 8 月 2 1 日 午前 9 時 5 0 分 場 所 宮崎地方裁判所民事部
買受申出の保証の 提供方法	下記のいずれかによる。 (1) 当裁判所の預金口座に金銭を振り込んだ旨の金融機関の証明書。 (2) 銀行、損害保険会社、農林中央金庫、商工組合中央金庫、全国を地区とする信用金庫連合会、信用金庫又は労働金庫の支払保証委託契約締結証明書。
買受申出の資格の 制限（民事執行規則 3 3 条）	☆印を付した物件は農地であるので、権限を有する行政庁の交付した買受適格証明書を有する者及び買受けについて農地法上の許可又は届出を必要としない者に限り、買受申出をすることができます。
一般の閲覧に供するため、物件明細書・現況調査報告書・評価書の各写しを 令和 7 年 7 月 1 0 日から当庁物件明細書等閲覧室に備え置きます。	

物件番号	売却基準価額（円） 買受可能価額（円）	一括 売却	買受申出保証額（円）	令和6年度	
				固定資産税（円）	都市計画税（円）
1, 2	6,139,000 4,911,200	一括	1,227,800	57,220	0
1	1,598,000				
2	4,541,000				

物 件 目 録

- 1 所 在 都城市五十町
地 番 1 5 7 7 番 9
地 目 宅地
地 積 2 5 6 . 7 0 平方メートル
- 2 所 在 都城市五十町 1 5 7 7 番地 9
家屋 番号 1 5 7 7 番 9
種 類 居宅
構 造 木造合金メッキ鋼板ぶき平家建
床 面 積 7 9 . 3 4 平方メートル
(附属建物)
符 号 1
種 類 物置
構 造 軽量鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき平家建
床 面 積 8 . 4 1 平方メートル

物 件 明 細 書

令和 7年 4月 9日

宮崎地方裁判所民事部

裁判所書記官 下 川 夏 実

1 不動産の表示

【物件番号 1、2】

別紙物件目録記載のとおり

2 売却により成立する法定地上権の概要

なし

3 買受人が負担することとなる他人の権利

【物件番号 1、2】

なし

4 物件の占有状況等に関する特記事項

【物件番号 2】

本件所有者が占有している。

5 その他買受けの参考となる事項

なし

《 注 意 書 》

- 1 本書面は、現況調査報告書、評価書等記録上表れている事実とそれに基づく法律判断に関して、執行裁判所の裁判所書記官の一応の認識を記載したものであり、関係者の間の権利関係を最終的に決める効力はありません（訴訟等により異なる判断がなされる可能性もあります。）。
- 2 記録上表れた事実等がすべて本書面に記載されているわけではありません。また、記載されている事実や判断も要点のみの簡素なものですので、必ず、現況調査報告書及び評価書並びに「物件明細書の詳細説明」もご覧ください。

- 3 買受人が、占有者から不動産の引渡しを受ける方法として、引渡命令の制度があります。引渡命令に関する詳細は、「引渡命令の詳細説明」をご覧ください。
- 4 対象不動産に対する公法上の規制については評価書に記載されています。その意味内容は「公法上の規制の詳細説明」をご覧ください。
- 5 各種「詳細説明」は、閲覧室では通常別ファイルとして備え付けられています。また、B I T（不動産競売物件情報サイト）の「お知らせ」ページからダウンロードが可能です。

物 件 目 録

- | | | |
|---|-----|--------------------|
| 1 | 所 在 | 都城市五十町 |
| | 地 番 | 1 5 7 7 番 9 |
| | 地 目 | 宅地 |
| | 地 積 | 2 5 6 . 7 0 平方メートル |
-
- | | | |
|---|--------|---------------------|
| 2 | 所 在 | 都城市五十町 1 5 7 7 番地 9 |
| | 家屋 番号 | 1 5 7 7 番 9 |
| | 種 類 | 居宅 |
| | 構 造 | 木造合金メッキ鋼板ぶき平家建 |
| | 床 面 積 | 7 9 . 3 4 平方メートル |
| | (附属建物) | |
| | 符 号 | 1 |
| | 種 類 | 物置 |
| | 構 造 | 軽量鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき平家建 |
| | 床 面 積 | 8 . 4 1 平方メートル |

令和7年(ケ)第2号
令和7年2月14日受理
令和7年3月17日提出

現況調査報告書

宮崎地方裁判所
執行官 佐藤 正 善

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

物 件 目 録

- 1 所 在 都城市五十町
 地 番 1 5 7 7 番 9
 地 目 宅地
 地 積 2 5 6 . 7 0 平方メートル

- 2 所 在 都城市五十町 1 5 7 7 番地 9
 家 屋 番 号 1 5 7 7 番 9
 種 類 居宅
 構 造 木造合金メッキ鋼板ぶき平家建
 床 面 積 7 9 . 3 4 平方メートル
 (附属建物)
 符 号 1
 種 類 物置
 構 造 軽量鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき平家建
 床 面 積 8 . 4 1 平方メートル

不動産の表示	「物件目録」のとおり
住居表示	
土地	物件
現況地目	■宅地（物件1）
形状	■公図（法第14条第1項地図）のとおり □建物図面のとおり ■土地建物位置関係図のとおり
占有者及び占有状況	■土地所有者 □その他の者 上記の者が物件1上に下記建物を所有し、占有している。 □「占有者及び占有権原」のとおり
下記以外の建物（目的外建物）	■ない □ある（詳細は「目的外建物の概況」のとおり）
その他の事項	
建物	物件2
種類、構造及び床面積の概略	■公簿上の記載とほぼ同一である（物件 ） □公簿上の記載と次の点が異なる（物件 ） □構造： □床面積：
物件目録にない附属建物	■ない □ある
占有者及び占有状況	■建物所有者 □その他の者 上記の者が本件建物を居宅として使用している。 □「占有者及び占有権原」のとおり
上記以外の敷地（目的外土地）	■ない □ある（詳細は「目的外土地の概況」のとおり）
その他の事項	
執行官保管の仮処分	■ない
土地建物の位置関係	■土地建物位置関係図のとおり

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(2枚目)

関係人の陳述等	
陳述者(当事者との関係)	陳述内容等
■都城市役所 維持管理課 担当者 ■A(債務者兼所有者)	物件1の南西側が接する道路は市道である。 1 物件2建物には、現在、私が一人住んでいます。 2 隣接地との境界争いはありません。 3 物件2建物は、シロアリの被害はないと思いますが、雨漏りは、築5, 6年後くらいからあります。けっこうシミが所々にできていますが、今まで建築業者に連絡したことはありません。この辺りは風が強い地域なので、開口部から雨が入り込むのかもしれない。 4 物件2建物の北東側の部屋は、湿っているとドアの開閉が困難になります。 5 物件2建物はオール電化です。太陽光発電システムについては、建物の建築費に含まれていたと思います。発電出力は4.0kWくらいだったはずですが、台所のIHは壊れています。 6 物件1上に電柱がありますが、敷地料については分かりません。 7 物件2建物では、室内で猫を6匹飼っています。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(3枚目)

執行官の意見

- 1 物件1土地は、物件2建物の敷地として利用されている。
- 2 物件1土地の境界は、公図（法第14条第1項地図）上では確認できるが、現地では、隣接地とはブロック積、境界プレート等により、市道とは利用状況から概ね確認できる。
- 3 物件2建物はオール電化であり、太陽光発電システムが整備されているが、Aが所持している契約書等からは、太陽光発電システムについての所有権留保の有無を含む契約内容は不明である。ただし、Aからは、太陽光発電システムの費用は、建物の建築費用に含まれていると聴取した。Aによれば、太陽光発電システムの出力は4kWくらいとのことであったが、物件2建物外に設置してあるパワーコンディショナの最大出力表示は4.5kW、太陽光パネルの枚数は航空写真によると18枚と思料される。
- 4 物件2建物につき、シロアリ被害はないと聴取した。
- 5 物件2建物は築後5, 6年頃から雨漏りがするようになったとのことで、現在でも北側の部屋を中心に浴室前の床他、多くのシミが見られた。また、北東側の部屋は、湿っていると、ドアの開閉が困難になると聴取した。(写真⑩⑪⑫)
- 6 物件2建物内で猫を6匹飼っており、臭いが感じられ、また、猫による壁の傷等の可能性がある。
- 7 物件1土地上のカーポートは、土地の定着物である。(写真①)
- 8 物件1土地上の物置は、物件2建物の附属建物である。(写真⑬⑭)
- 9 物件1土地上に電柱が存するが、その敷地料については分からないと聴取した。(写真⑳)
- 10 本件物件の占有関係は、Aの陳述及び現況等から2枚目記載のとおり認めた。

(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(4枚目)

(調査経過用)

調査の経過		
調査の日時	調査の場所等	調査の方法等
令和7年2月18日 13:00-13:20(20)	宮崎地方法務局都城支 部	底地調査、隣接地登記情報徴求
令和7年2月18日 13:30-14:00(30)	都城市役所 資産税課 維持管理課	建物間取図・公課証明書徴求 接道調査
令和7年2月18日 14:10-14:30(20)	物件所在地	現地・占有調査、外観写真撮影
令和7年2月26日 15:00-16:00(60)	物件所在地	立入調査、評価人同行、Aから聴取、写 真撮影

(特記事項)

■ 令和 7年 2月26日

目的物件は、不在で施錠されていることが予想されたので、解錠技術者を同行した。

□ 令和 年 月 日

休日・夜間執行許可の提示をした。

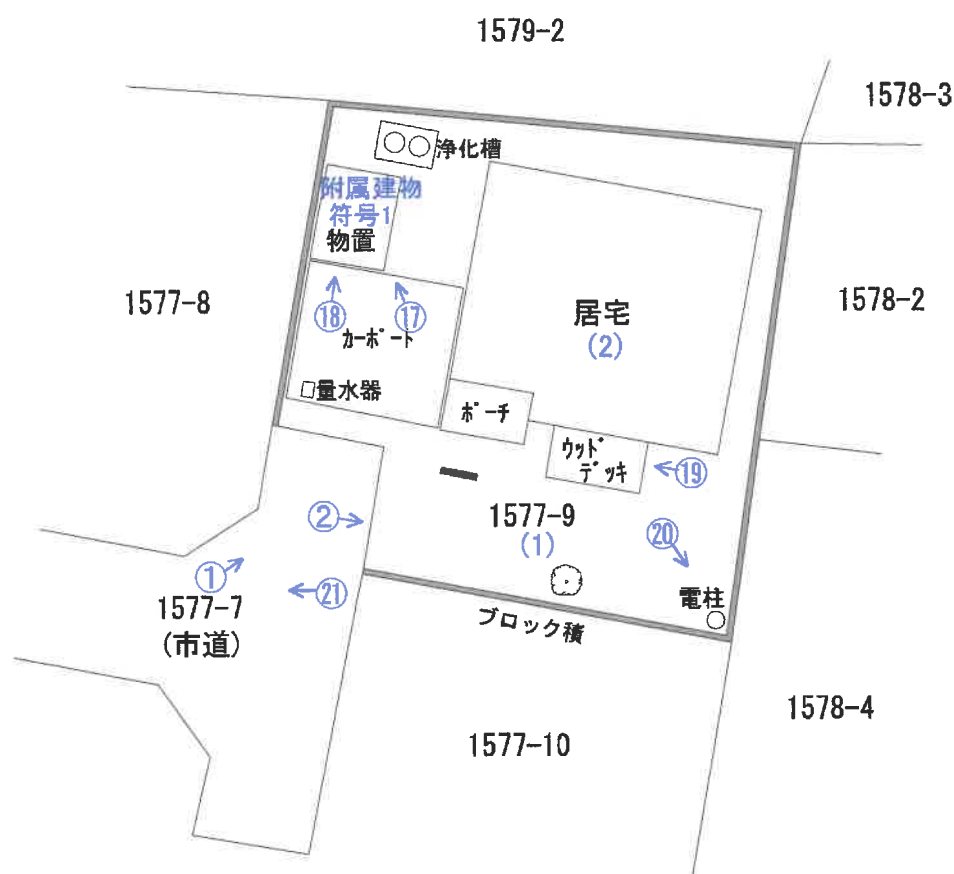
(注) チェック項目中の調査結果は、「■」の箇所の記載のとおり

(5枚目)

15

土地建物位置関係図

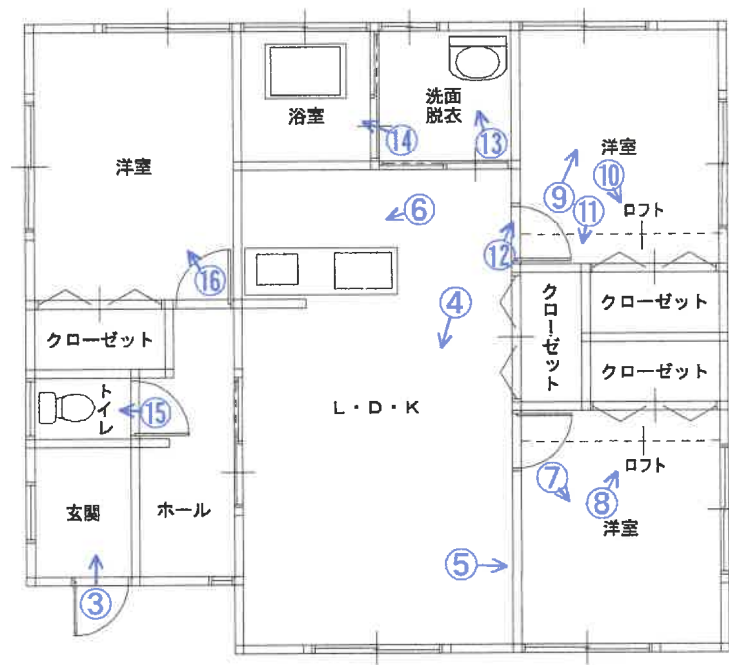
4



写真撮影位置・方向 ○➡

※この図面は土地、建物等の位置を概略的に表示したものであり、境界等を確定するものではありません。

間 取 図



居宅



(附属建物符号1)
物置



写真撮影位置・方向 ○➤

(8 枚目)

写真①



写真②



写真③



写真④



写真⑤



写真⑥



写真⑦



写真⑧



写真⑨



(11枚目)

写真⑩



写真⑪



写真⑫

ドアの剥がれ



写真⑬



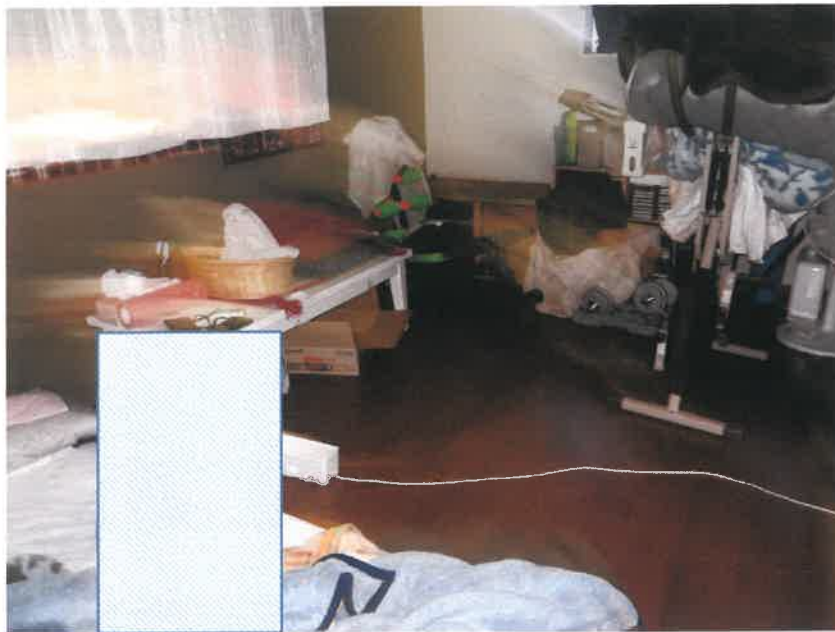
写真⑭



写真⑮



写真⑯



写真⑰

カーポート

附属建物（物置）



物件 1

写真⑱

カーポート

附属建物（物置）



物件 1

写真⑱

ウッドデッキ

物件2

物件1



写真⑳

電柱

物件1



写真㉑

市道

物件1・物件2
方面

市道



BIT

令和 7 年 (ケ) 第 2 号
令和 7 年 2 月 26 日 現地調査
令和 7 年 3 月 19 日 評価
現況調査担当 佐藤 正善 執行官

宮崎地方裁判所 御中

評 価 書

評価人 不動産鑑定士
菅 野 道 雅

第 1 評価額

一 括 価 格	
金 6, 1 3 9, 0 0 0 円	
内 訳 価 格	
物件 1 (土地)	金 1, 5 9 8, 0 0 0 円
物件 2 (建物)	金 4, 5 4 1, 0 0 0 円

- 1 一括価格は、物件 1, 2 の各不動産について、一括売却（民事執行法 6 1 条本文）を行うことを前提とした場合の価格である。
- 2 内訳価格は、配当等の判断のために一括価格の内訳として算出した価格である。
- 3 物件 1 の内訳価格は物件 2 建物のための土地利用権等価格を控除した価格であり、物件 2 の内訳価格は当該土地利用権等付建物としての価格である。

第 2 評価の条件

- 1 本件評価は、民事執行法により売却に付されることを前提とした適正価格を求めるものである。
したがって、求めるべき評価額は、一般の取引市場において形成される価格ではなく、一般の不動産取引と比較しての競売不動産特有の各種の制約（売主の協力が得られないことが常態であること、買受希望者は内覧制度によるほかは物件内部の確認が直接できないこと、引渡しを受けるために法定の手続をとらなければならない場合があること、目的物の種類又は品質に関する不適合には担保責任がないこと等）等の特殊性を反映させた価格とする。
- 2 評価は、目的物件の調査時点における現状に基づいて行うものであり、調査日以降発生した物件の現状変更については原則として考慮していない。
- 3 現地での物件調査は、原則として目視可能な部分に限定される。
- 4 物件に関する情報提供の内容は、民事執行法 5 8 条 4 項に定める場合を除いて、原則として公共機関で公開された資料に基づくものである。

第3 目的物件

番号	所在等	登記	現況
1	所在地 地目 地積	都城市五十町 1577番9 宅地 256.70㎡	ほぼ登記記載のとおり
2	所在 家屋番号 種類 構造 床面積 (附属建物) 符号 種類 構造 床面積	都城市五十町1577番地9 1577番9 居宅 木造合金メッキ鋼板ぶき平家建 79.34㎡ 1 物置 軽量鉄骨造合金メッキ鋼板ぶき平家建 8.41㎡	ほぼ登記記載のとおり
特記事項			
特になし			
住居表示		「住居表示未実施」	

第4 目的物件の位置・環境等

1 土地の概況及び利用状況等（物件1）

位 置 ・ 交 通	J R日豊本線「五十市」駅の南東方・直線距離約1.2km 本村交通「油田」バス停の北西方・道路距離約430m (別添「位置図」参照)	
付 近 の 状 況	近隣は都城市役所の南西方約2.6km(直線距離)、国道10号油田交差点の北方約250m付近で開発造成された住宅地域である。付近の土地利用は安定しており、当分の間、現状維持で推移するものと予測される。	
主 な 公 法 上 の 規 制 等 (道路の幅員等 の個別的な規制 を考慮しない一 般的な規制)	都 市 計 画 区 分 用 途 地 域 建 ぺ い 率 容 積 率 防 火 規 制 そ の 他	非線引都市計画区域 用途指定なし 70% 200% — (特定用途制限地域)沿道利用保全型地区 (立地適正化計画)都市機能誘導区域外、居住誘導区域外 (景観計画区域)自然・田園区域
画 地 条 件	間 口：約6m(南西角) 奥 行：約16m 形 状：ほぼ台形 境 界：ブロック積や境界プレート、付近の利用状況等で概ね確認できる。	
接面道路の状況	南西側 幅員4.0～4.5m 舗装市道原村915号線	
土地の利用状況等	物件2居宅及び附属建物符号1物置の敷地として利用されている。また敷地の南西側にはカーポート、南東角には電柱が存する。それらの詳細については「現況調査報告書」記載のとおり。	
供 給 処 理 施 設	上 水 道：あり 下 水 道：公共下水道なし 都市ガス：なし	
災害等の危険性	国土交通省重ねるハザードマップ(評価時点)によると、 津波ハザード：特になし 洪水ハザード：特になし 高潮ハザード：特になし 宮崎県土砂災害警戒区域等マップ(評価時点)によると、 土砂災害警戒区域等：特になし	
埋蔵文化財の有無 及びその状態	都城市教育委員会文化財課によると、「油田遺跡」の範囲内にあるため、開発等にあたっては、事前の協議・確認調査・文化財保護法に基づく工事届出が必要になる。	
土壌汚染の有無 及びその状態	登記記録や過去の住宅地図等による調査の結果、土壌汚染の端緒は確認できない。	
特 記 事 項	※都城市役所建築対策課開発指導担当によると、本土地を含む周辺の住宅地は平成19年に開発許可を受けて開発造成された分譲地である。また同課に備え付けられている開発登録簿によると、都市計画法第41条の規定に基づく下記の指定がなされている。 ・地区区分：第一種低層住居専用地域 ・建ぺい率：50% ・容積率：100% 上記のほか、斜線制限や高さの限度、壁面後退等の制限あり。	

2 建物の概況及び利用状況（物件2 居宅）

区 分	主たる建物
建築時期及び経済的残存耐用年数	建築年月日（登記記載）：平成23年4月28日新築 経過年数：約14年 経済的残存耐用年数：約11年
仕 様	構 造：木造平家建 屋 根：合金メッキ鋼板 外 装：サイディング 内 装：ビニールクロスほか 天 井：ビニールクロスほか 床 ：フローリングほか 設 備：給排水、浄化槽、オール電化、太陽光発電システム、ロフト
床面積（現況）	ほぼ登記記載のとおり
現 況 用 途 等	現況用途：居宅 間 取 り：後添「間取図」参照
品 等	総 合：やや劣る 使用資材：やや劣る 施 工：やや劣る
保守管理の状態	相当劣る 所有者によると、建築して5、6年後くらいから雨漏りがあり、内装のビニールクロスなどに数多くのシミが見られるほか、ドアの開閉が困難な箇所もある。またIHクッキングヒーターは故障しているとのこと。飼い猫による壁の損傷等もある。
建物の利用状況	「現況調査報告書」記載のとおり。
特 記 事 項	※本建物には太陽光発電システムが設置されているが、その状況に関して所有者から聴取した内容については「現況調査報告書」を参照のこと。 ※対象建物について、建築時期・構造・種類等の要因を踏まえ現場調査を行った結果、アスベスト含有建材が使用されている可能性は否定できない。なお、アスベスト使用の詳細については専門調査機関の分析調査を要する。

(物件 2 物置)

区 分	附属建物 符号 1
建築時期及び経済的残存耐用年数	建築年月日(登記記載)：平成 23 年 11 月 15 日新築 経過年数：約 13 年 経済的残存耐用年数：約 4 年
仕 様	構 造：軽量鉄骨造平家建 屋 根：合金メッキ鋼板 外 装：鋼板 内 装：なし 天 井：なし 床：土間コンクリート 設 備：－
床面積(現況)	ほぼ登記記載のとおり
現況用途等	現況用途：物置 間取り：後添「間取図」参照
品 等	総 合：普通 使用資材：普通 施 工：普通
保守管理の状態	概ね経年相応
建物の利用状況	「現況調査報告書」記載のとおり。
特 記 事 項	※対象建物について、建築時期・構造・種類等の要因を踏まえ現場調査を行った結果、アスベスト含有建材が使用されている可能性は否定できない。なお、アスベスト使用の詳細については専門調査機関の分析調査を要する。

第5 評価額算出の過程

1 基礎となる価格

(1) 建付地価格（物件1）

目的土地の建付地価格を次のとおり求めた。

番号	標準画地価格 (円/㎡) ア	個別 格 差 イ	地 積 (㎡) ウ	建付減価 エ	建 付 地 価 格(円) ア×イ×ウ×エ
1	16,800	0.95	256.70	1.00	4,097,000

ア 標準画地価格（公示価格等からの規準）

地価公示 都城－8

公示価格等 時点修正 標準化補正 地域格差 標準画地価格
 $18,500\text{円}/\text{㎡} \times 100/100 \times 100/100 \times 100/110 \approx 16,800\text{円}/\text{㎡}$

◇時点修正：公示価格等の価格時点から評価日までの推定変動率である。

◇標準化補正：補正なし

◇地域格差：環境+10%

イ 個別格差：間口狭小0.95

ウ 地 積：登記数量を採用した。

エ 建付減価：建物と敷地の適応の状態等を考慮した。

(2) 建物価格（物件2）

目的建物の再調達原価（太陽光発電システムを含む）を、建物建築費の推移動向を考慮した標準的な建築費等に比準して求め、これに耐用年数に基づく方法及び観察減価法を併用して求めた現価率を乗じて、建物価格を求めた。

番号	再調達原価 (円/㎡) ア	現況延床面積 (㎡) イ	現 価 率 ウ	建物価格 (円) ア×イ×ウ
2	(居宅) 223,000	79.34	0.33	5,839,000
	(物置) 130,000	8.41	0.27	295,000
				計 6,134,000

ウ 現価率：居宅…経過年数14年、経済的残存耐用年数11年、残価率5%の定額法（現価率0.47）と観察減価法（雨漏りや内装損傷等▲30%）を併用して、0.33と査定した。

{残価率5% + (1 - 0.05) × (経済的残存耐用年数11年 / 経済的耐用年数25年)} ÷ 0.47
 耐用年数に基づく方法 0.47 × 観察減価法 (1.00 - 0.30) ÷ 0.33

物置…経過年数13年、経済的残存耐用年数4年、残価率5%の定額法（現価率0.27）と観察減価法（概ね経年相応）を併用して、0.27と査定した。

{残価率5% + (1 - 0.05) × (経済的残存耐用年数4年 / 経済的耐用年数17年)} ÷ 0.27
 耐用年数に基づく方法 0.27 × 観察減価法 1.00 = 0.27

2 評価額の判定

前記により求めた価格に、土地については土地利用権等価格を控除し、建物については土地利用権等価格を加算し、さらに競売市場修正等を施して、下記のとおり評価額を求めた。

① 土地利用権等価格

番号	建付地価格(円) ア	土地利用権等割合 イ		及ぶ範囲 ウ	土地利用権等価格(円) ア×イ×ウ
1	4,097,000	物件2の 法定地上権	0.35	1.00	1,434,000

イ 土地利用権等割合：敷土地利用権を法定地上権と判定し、その割合を35%と査定した。

② 内訳価格及び一括価格

番号	基礎となる価格 (円) ア	土地利用権等価格 の控除及び加算 (円) イ	占有減 価修正 ウ	市場性 修正 エ	競売市場 修正 オ	評 価 額(円) (ア±イ)×ウ ×エ×オ
1	4,097,000	－) 1,434,000		1.00	0.60	1,598,000
2	6,134,000	＋) 1,434,000	1.00	1.00	0.60	4,541,000
一括価格 (合計)						6,139,000

ウ 占有減価修正：必要なし

エ 市場性修正：必要なし

オ 競売市場修正：評価の条件欄記載の不動産競売市場の特殊性等を考慮した。

第6 参考価格資料

1 標準画地価格の査定

地価公示価格 都城－8

所 在：都城市蓑原町2997番4

価 格：18,500円/㎡

位 置：JR五十市駅1.3km

価 格 時 点：令和7年1月1日

地 積：259㎡

供給処理施設：水道

接 面 街 路：東4m市道

用途指定等：第一種中高層住居専用地域(建ぺい率60%・容積率200%)

地域の概要：一般住宅の中に空地等が見られる住宅地域

2 固定資産税評価額（令和6年度公課証明書による）

物件1 1,088,151円

物件2 居宅79.34㎡…3,979,507円

物件2 物置9.12㎡…107,676円

第7 附属資料

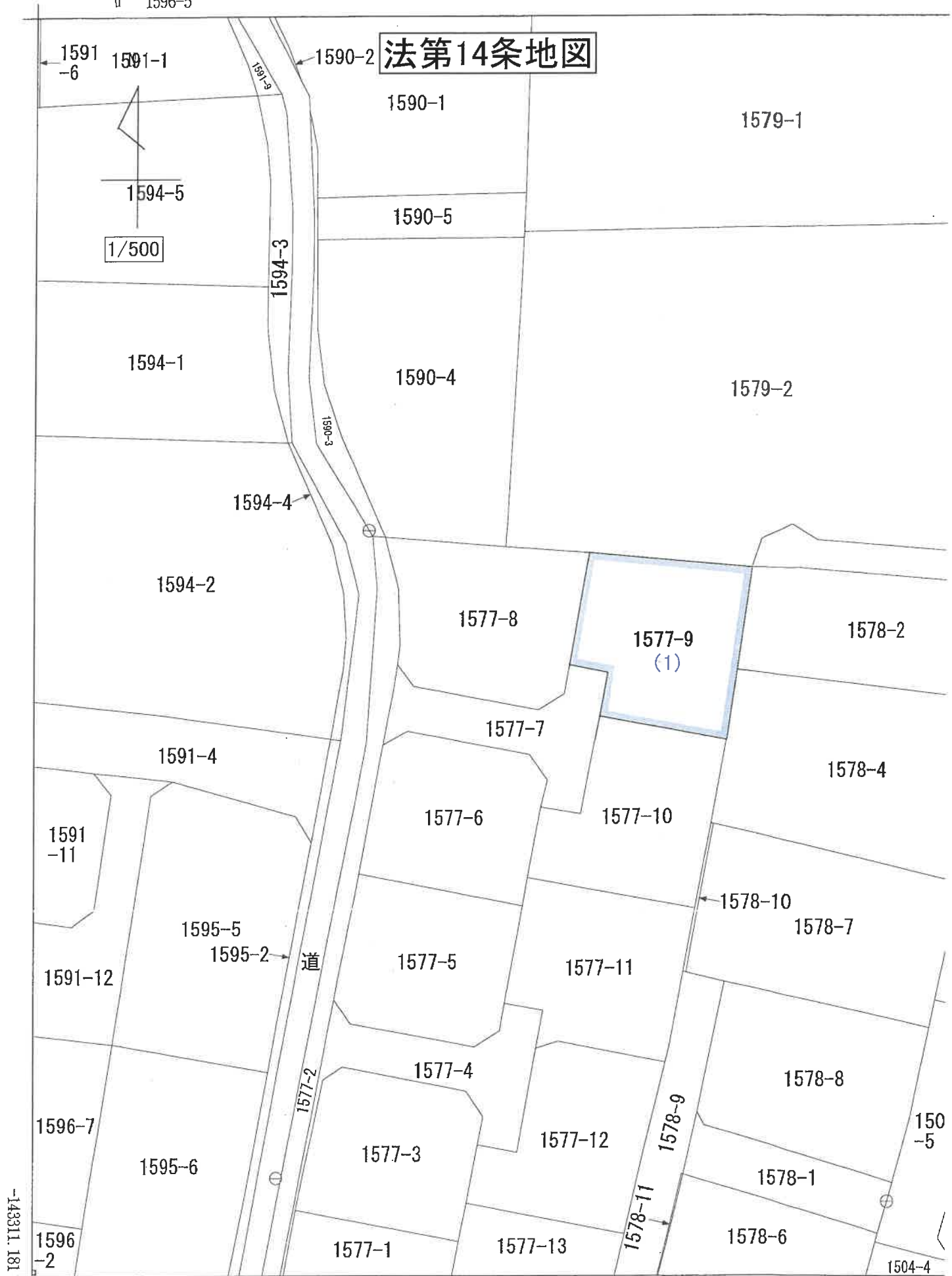
1. 位置図
2. 法第14条地図
3. 地積測量図
4. 建物図面
5. 土地建物位置関係図
6. 間取図
7. 写真

以 上

位置図



法第14条地図



+3467.331

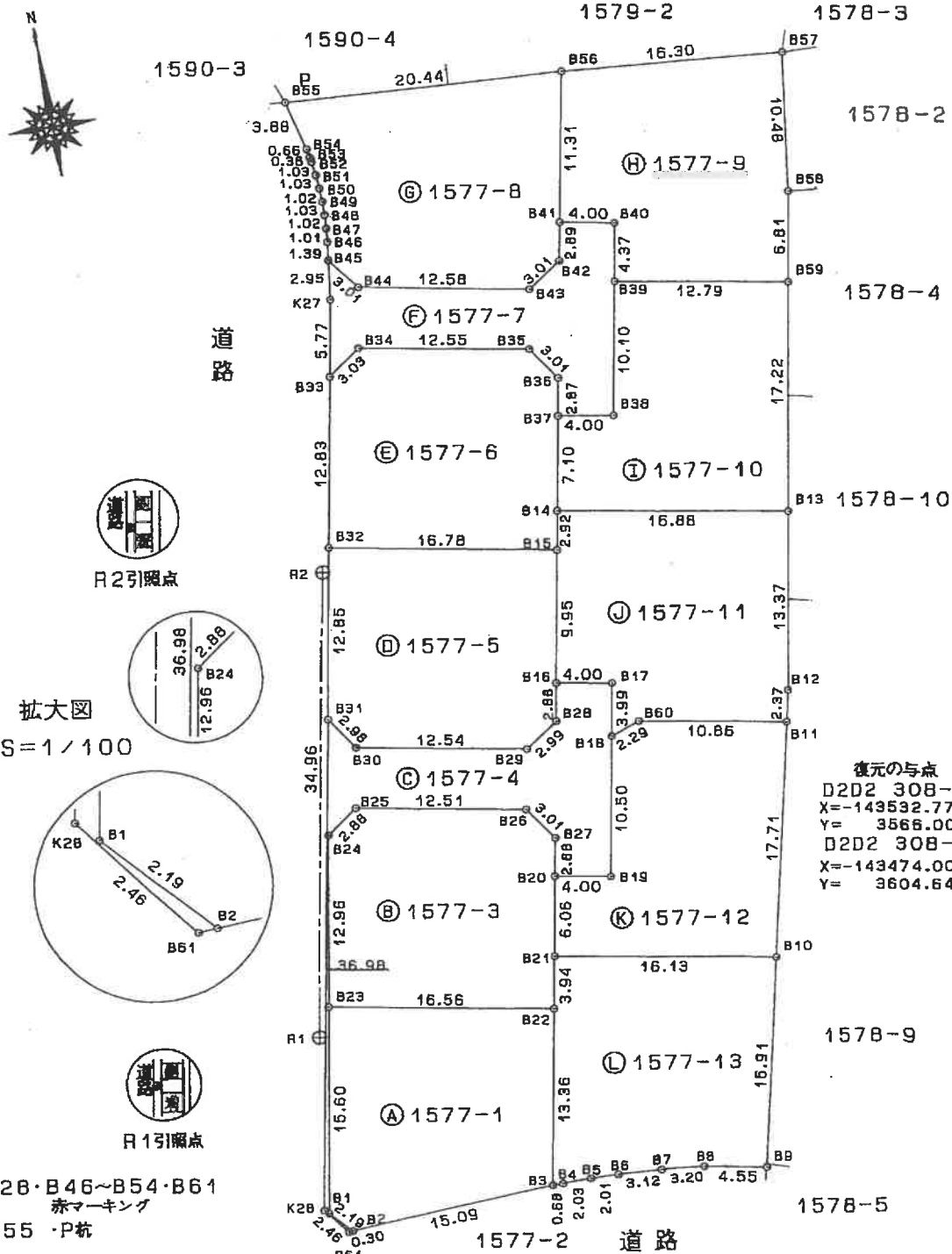
(座標値種別：図上測定)

前 1577-1 後 新

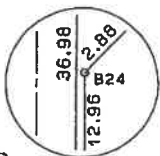
地番 1577-1
1577-3ないし1577-13

地積測量図

土地の所在 都城市五十町

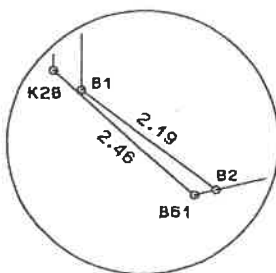


R2引張点



拡大図

S=1/100



R1引張点

K28・B46~B54・B61

赤マーキング

B55・P杭

その他の点全点・プレート板

筆界標略号 S…石杭 C…コンクリート杭 P…プラスチック杭 R…金属標 M…刻ミ ()

復元の与点
D2D2 308-5
X=-143532.778
Y= 3566.009
D2D2 308-6
X=-143474.003
Y= 3604.647

申請人

縮尺

1/500

SS88881

平成 19 年 6 月 20 日 登記

宮崎地方法務局都城支局
『地積測量図』

前 1577-1 後

新

記

地 番 1577-1
1577-3ないし1577-13

地 積 測 量 図

土地の所在 都城市五十町

2/3

地 番	㊦ 1577-8			
測 点 名	X 座 標	Y 座 標	$Y_{n+1}-Y_n$	$X_n \cdot (Y_{n+1}-Y_n)$
B56	-143610.160	3742.646	18.255	-2621603.470800
B41	-143621.270	3740.513	-2.681	385048.624870
B42	-143624.110	3739.965	-3.047	437622.663170
B43	-143625.788	3737.466	-14.843	2131837.571284
B44	-143623.359	3725.122	-14.193	2038446.334287
B45	-143620.988	3723.273	-1.672	240134.291936
B46	-143619.613	3723.450	0.271	-38920.915123
B47	-143618.608	3723.544	0.156	-22404.502848
B48	-143617.594	3723.606	0.085	-12207.495490
B49	-143616.567	3723.629	0.000	0.000000
B50	-143615.543	3723.606	-0.097	13930.707671
B51	-143614.518	3723.532	-0.209	30015.434262
B52	-143613.494	3723.397	-0.184	26424.882896
B53	-143613.133	3723.348	-0.176	25275.911408
B54	-143612.487	3723.221	-1.090	156537.610830
B55	-143608.731	3722.258	19.425	-2789599.599675
			倍 面 積	538.048678
			面 積	269.0243990
			地 積	269.02 m ²
			坪 数	81.37

地 番	㊦ 1577-9			
測 点 名	X 座 標	Y 座 標	$Y_{n+1}-Y_n$	$X_n \cdot (Y_{n+1}-Y_n)$
B40	-143622.038	3744.413	-3.107	446233.672066
B41	-143621.270	3740.513	-1.767	253778.784090
B56	-143610.160	3742.646	18.367	-2637687.808720
B57	-143611.656	3758.880	14.785	-2123298.333960
B58	-143622.038	3757.431	-2.697	387348.636486
B59	-143628.734	3756.183	-13.811	1983656.445274
B39	-143626.339	3743.620	-11.770	1690482.010030
			倍 面 積	513.405266
			面 積	256.7026330
			地 積	256.70 m ²
			坪 数	77.65

地 番	㊦ 1577-10			
測 点 名	X 座 標	Y 座 標	$Y_{n+1}-Y_n$	$X_n \cdot (Y_{n+1}-Y_n)$
B39	-143626.339	3743.620	14.450	-2075400.598550
B59	-143628.734	3756.183	9.414	-1352120.901876
B13	-143645.659	3753.034	-19.736	2834980.726024
B14	-143642.514	3736.447	-15.238	2188824.628332
B37	-143635.541	3737.796	5.286	-759257.469726
B38	-143636.259	3741.733	5.824	-836537.572416
			倍 面 積	498.811788
			面 積	249.4058940
			地 積	249.40 m ²
			坪 数	75.44

筆界標略号 S…石杭 C…コンクリート杭 P…プラスチック杭 R…金属標 M…刻ミ ()

申 請 人

縮尺

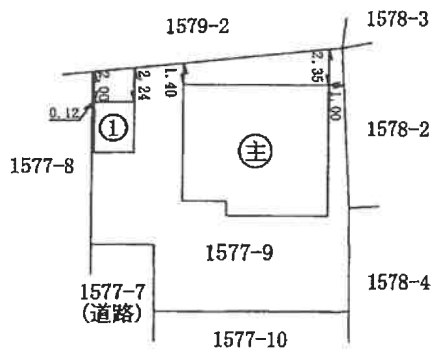
1/500

平成 19 年 6 月 20 日 登記

宮崎地方法務局都城支局
『地積測量図』

家屋番号	1577番9	建	物	図	面
------	--------	---	---	---	---

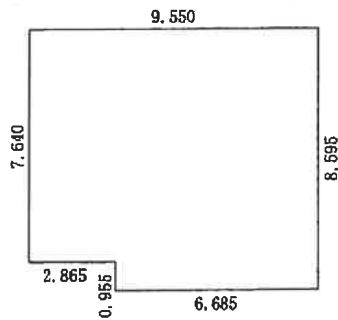
建物の所在	都城市五十町1577番地9
-------	---------------



申請人		縮尺	1 500
-----	--	----	----------

各 階 平 面 図

主たる建物

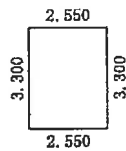


求 積 表

6.685×8.595	$= 57.457575$
2.865×7.640	$= 21.888600$

合 計	79.346175
床面積	79.34 m ²

附属建物・符号 1



求 積 表

2.550×3.300	$= 8.415000$
----------------------	--------------

合 計	8.415000
床面積	8.41 m ²

(平成 27 年 4 月 22 日作成)

作 成 者

縮尺

1

250

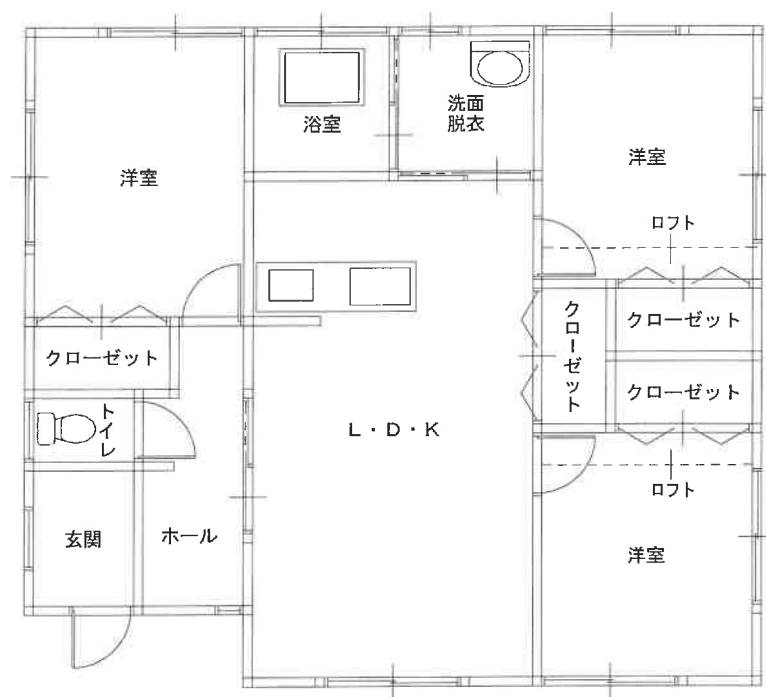
土地建物位置関係図

4



※この図面は土地、建物等の位置を概略的に表示したものであり、境界等を確定するものではありません。

間 取 図



居宅



(附属建物符号1)
物置

物件2(符1)物置



物件2居宅

(南西方より)

物件1



(北西方より)

物件2居宅

物件2(符1)物置